

美しさを拓く。MILBON

ORDEVE Addictly

The Professional Haircolor

Rubellite

OrangeCarnelian



EVOLVING HUES. EVERLASTING BEAUTY

色褪せてゆくプロセスすらも美しく
染めたその日から、やわらかな透明感はそのままに
表情を変えながら最後まで美しい髪色をキープする。

その移ろいは、あなたを解き放ち、
唯一無二の美しさへと導くプロセス。

ひと時で消えたりなんかしない。
時間の流れさえも味方にして
あなたをもっと自由にする。

ORDEVE *Addictly*

The Professional Haircolor



コンセプト動画

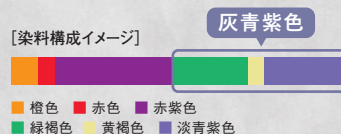
アンダーをかき消し、グレイージュに褪色。

透き通る暖色を表現する **2色相**

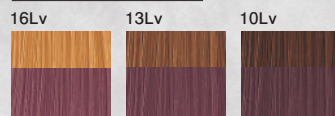
Rubellite ルベライト

灰味を帯びた淡いピンク

9Lv TINT



アンダー別仕上がりイメージ



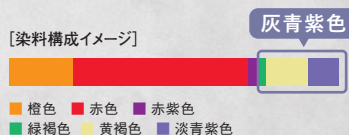
Before



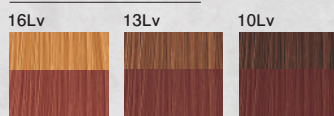
OrangeCarnelian オレンジカーネリアン

透き通るようにやわらかなオレンジ

9Lv TINT



アンダー別仕上がりイメージ



Before



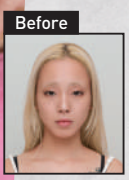


DESIGN TECHNIQUE

一度の施術で複数回ハイライトを入れたようなデザイン

ダブルハイライト

ルベライト × オレンジカーネリアン
2色のダブルハイライト



“透き通る暖色表現”と“グレイジュ褪色”の両立を叶える グレイジュシフト設計

暖色カラーの課題

課題1 仕上がり

“暖色”と“やわらかな透明感”は両立しにくいので、絶妙なMIXのバランスが難しい。

暖色とクリアをMIXした場合

アンダーを消せず透明感が出ない

暖色と寒色をMIXした場合

暖色が濁り色味を感じにくい

課題2 褪色過程

暖色カラーは染めたてはきれいでも褪色過程で汚く感じたり、残留しやすい。

〈従来の暖色〉

毛髪内に残る染料のイメージ

褪色後

混色設計のため、暖色味を表現するには、暖色系染料を多く配合する必要がある

多く配合した暖色系染料が残り、濁った暖色方向に褪色

グレイジュシフト設計

課題解決の鍵

“暖色”と相性がよく“やわらかな透明感”を表現しながら、褪色過程でも暖色系染料の濁りを抑える染料をくまなく探求

↓

灰青紫色に着目!

Point

- 青味を抑えた紫色系なので、暖色と相性が良い
- 暖色の発色を妨げないので、最低限の暖色系染料でも暖色味を感じられる
- 寒色系の良さであるアンダーのかき消しが可能

灰青紫色が中～高強度アンダーをぼかすようにかき消し、暖色系染料を濁らせることなく透明感のある仕上がりに。

灰青紫色 + 暖色系染料 = 透明感のある色

最低限の暖色系染料と灰青紫色で構成されているため褪色過程でも灰青紫色が残りやすく、アンダーをかき消すことで“グレイジュ褪色”へ導く。

〈灰青紫色を含む今回の追加色〉

毛髪内に残る染料のイメージ

褪色後

灰青紫色が暖色の発色を妨げないので、最低限の暖色系染料で構成

灰青紫色の染料が効くことでグレイジュ方向に褪色

*既存のオルディブ アディクション

※毛束写真は、イメージです。印刷条件により多少の色味の違いがあります。 ※イラストはイメージです。

